

艦隊令

第一條 艦隊ハ軍艦二隻以上ヲ以テ編成シ必要ニ應シ之ニ驅逐隊、艇隊、潜水艇隊又ハ驅逐艦、水雷艇、潜水艇ヲ編入シ港務部、防備隊、工作船、運送船、病院船等ヲ附屬ス

艦隊ハ編制若ハ任務ニ因ル名稱又ハ差遣スル所ノ海洋若ハ地方ノ名ヲ冠稱ス

第二條 艦隊ハ必要ニ應シ之ヲ戰隊ニ區分ス

戰隊ハ軍艦二隻以上又ハ軍艦及驅逐隊、艇隊若ハ潜水艇隊ヲ以テ編成ス但シ軍艦及驅逐隊、艇隊又ハ潜水艇隊ヲ以テ編成スルトキハ之ヲ水雷戰隊ト稱ス

第三條 聯合艦隊ニ因リ第一戰隊又ハ第二水雷戰隊等ト稱ス

第四條 聯合艦隊ハ艦隊二個以上ヲ以テ編成ス

艦隊ニ司令長官、司令官ヲ置ク但シ艦隊ノ編制又ハ任務ニ應シ司令官ノミヲ置クコトヲ得

聯合艦隊司令長官及艦隊司令長官ハ親補トス

第五條 聯合艦隊及艦隊ニ當該司令長官ノ幕僚トシテ左ノ職員ヲ置ク

參謀長

參謀

副官

機關長

軍醫長

主計長

艦隊ノ編制又ハ任務ニ應シ前項職員ノ一部ヲ置カサルコトヲ得

第六條 司令官ノ幕僚トシテ參謀ヲ置キ又必要ニ應シ副官及機

●艦隊令

大正三年十一月二十八日(軍令)

(大正五年三月五號、六年一月一號、八年三月二號、十二年八月八號、昭和三年三月一號、十二月五號、七年十月二號、八年四月三號、九月六號、九年五月五號、十二年八月五號、十三年一月一號、十一月八號)

關長ヲ置ク

獨立艦隊司令官ノ幕僚トシテ前項ノ外必要ニ應シ參謀長ヲ置ク

第七條 司令長官又ハ司令官ノ隊務ヲ掌ル所ヲ司令部ト稱ス

第八條 各司令部ニハ第五條及第六條ニ掲クル職員ノ外必要ニ應シ司令部附トシテ海軍將校、同相當官、主理、通譯官、兵

曹長、同相當官、准士官、下士卒ヲ置ク

第九條 聯合艦隊、艦隊、戰隊ノ編制並各司令部ノ定員ハ別ニ之ヲ定ム

第十條 聯合艦隊司令長官ハ

天皇ニ直隸シ聯合艦隊ヲ統率シ之ニ關スル隊務ヲ統督ス

聯合艦隊司令長官ハ軍政ニ關シテハ海軍大臣ノ指揮ヲ承ク

第十一條 艦隊司令長官ハ

天皇ニ直隸シ麾下ノ艦隊ヲ統率シ隊務ヲ總理ス

艦隊司令長官ハ軍政ニ關シテハ海軍大臣ノ指揮ヲ承ク

第十二條 艦隊司令長官ハ麾下艦隊ノ軍紀風紀及教育訓練ヲ統

監ス

第十三條 艦隊司令長官ハ自己及司令官ノ旗艦ヲ定メ且必要ニ

應シ幕僚及司令部附ノ配屬ヲ定ム但シ司令官ノ旗艦ハ當該司令官ヲシテ之ヲ定メシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ艦隊司令長官ハ之ヲ海軍大臣及海軍軍令

部長ニ報告スヘシ

第十四條 艦隊司令長官ハ任務上ノ必要ニ應シ一時麾下艦隊ノ

編制ヲ變更スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ艦隊司令長官ハ之ヲ海軍大臣及海軍軍令

部長ニ報告スヘシ

第十五條 艦隊司令長官ハ必要ニ應シ麾下ノ艦隊又ハ其ノ一部

ヲ艦隊行動區域外ニ派遣スルトキハ豫メ海軍大臣ノ承認ヲ經ヘシ但シ緊急ノ場合ニ當リ其ノ承認ヲ經ルノ違ナキトキハ直ニ之ヲ艦隊行動區域外ニ派遣スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ事後之ヲ海軍大臣及海軍軍令部長ニ報告スヘシ

第十六條 艦隊司令長官ハ麾下ノ艦船ヲ分遣スルトキハ其ノ首席將校ヲシテ指揮ヲ掌ラシメ自己ノ職權内ノ事ヲ之ニ委任スルコトヲ得

第十七條 艦隊司令長官ハ麾下ノ艦船ヲ引率スルトキハ航路及泊地ヲ指定シ其ノ安全ニ對シテハ自ら責ニ任スヘシ

司令官又ハ分遣隊ノ首席將校艦船ヲ引率スルトキ亦同シ

第十八條 艦隊司令長官ハ地方ノ安寧ヲ保持スル爲メ地方長官ヨリ兵力行使ノ請求アリタル場合ニ於テ事急ナルトキハ直ニ之ニ應スルコトヲ得但シ地方長官ノ請求ヲ待ツノ違ナキトキハ

兵力ヲ以テ便宜之ヲ處理スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ艦隊司令長官ハ之ヲ海軍大臣及海軍軍令

部長ニ報告スヘシ

第十九條 艦隊司令長官ハ軍港又ハ要港司令官ヲ監カサル要港ヲ除ク以外ノ港灣ニ在リテ所在首席將校ナルトキハ其ノ港灣ニ於ケル守備、秩序ノ維持及齊一ヲ要スル重大ナル事項ニ關シ同所ニ在ル他所屬ノ艦隊、驅逐隊、艇隊、潜水艇隊及艦船ヲ指揮スルノ權

ヲ有ス但シ緊急ノ必要アル場合ヲ除クノ外之カ爲當該諸隊及艦船ノ本務ヲ妨クルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ之ヲ司令部ニ準用ス

前二項ノ場合ニ於テ當該諸隊及艦船ノ本務ヲ妨クルニ至リタルトキハ艦隊司令長官ハ之ヲ海軍大臣及海軍軍令部長ニ報告

シ且當該諸隊及艦船ノ所屬長官ニ通報スヘシ

第二十條 艦隊司令長官ハ警備ニ關シテハ當該海軍區ヲ管スル鎮守府司令長官及當該警備區ヲ管スル要港部司令官ト氣脈ヲ通スヘシ

第二十一條 艦隊司令長官ハ疾病其ノ他緊急ノ際ニ當リ一時麾下乗員ノ移轉ヲ必要ト認ムル場合ニ於テ海軍大臣ノ承認ヲ經ルノ違ナキトキハ便宜之ヲ處理スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ事後之ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ

第二十二條 艦隊司令長官ハ麾下ノ兵曹長、同相當官、候補生准士官及下士卒ヲ麾下各艦船部隊ノ間ニ一時轉勤セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ候補生ニ付テハ之ヲ海軍大臣ニ報告シ其ノ他ノ者ニ付テハ本人在籍ノ鎮守府司令長官ニ通報スヘシ

第二十三條 艦隊司令長官ハ麾下ノ職員缺員中又ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルトキハ他ノ職員ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ將校同相當官及候補生ニ付テハ之ヲ海軍大臣ニ報告シ其ノ他ノ者ニ付テハ本人在籍ノ鎮守府司令長官ニ通報スヘシ

第二十四條 艦隊司令長官ハ麾下艦隊ノ内規、日課及週課ヲ制定シ海軍大臣ニ報告スヘシ

第二十五條 艦隊司令長官ハ任務上必要アルトキハ一定ノ標準時ヲ指定シ麾下艦隊ニ限リ之ヲ用キシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ海軍大臣及海軍軍令部長ニ報告スヘシ

第二十六條 艦隊司令長官ハ軍機保護上必要ト認ムルトキハ麾下諸員ニ對シテ他ト交通シ又ハ檢閲ヲ經スシテ一切ノ私信ヲ發送スルコトヲ禁スルコトヲ得

第二十七條 艦隊司令長官ハ事情已ムヲ得スト認ムルトキハ海軍部外ノ者ヲ麾下ノ艦船ニ便乗セシムルコトヲ得此ノ場合ニ

於テハ之ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ
第二十八條 艦隊司令長官ハ毎年十二月該教育年度間ニ於ケル麾下艦隊ノ行動豫定表ヲ調製シ之ヲ海軍大臣及海軍軍令部長ニ提出スヘシ

第二十九條 聯合艦隊司令長官及艦隊司令長官缺員中又ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルトキハ麾下ノ將校席次ノ順序ニ從ヒ其ノ職務ヲ代理ス此ノ場合ニ於テハ之ヲ海軍大臣及海軍軍令部長ニ報告スヘシ

第三十條 聯合艦隊司令長官及艦隊司令長官ハ必要ニ應シ麾下艦隊ノ一部ヲ直率ス

第三十一條 聯合艦隊ニ屬スル艦隊司令長官又ハ獨立艦隊司令長官ハ聯合艦隊司令長官ノ指揮ヲ承ク

第三十二條 艦隊司令長官ノ職責中統率ニ關スル事項ハ之ヲ聯合艦隊司令長官ニ準用ス

第三十三條 獨立艦隊司令官ハ天皇ニ直隸シ其ノ職權ニ付テハ艦隊司令長官ニ關スル規定ヲ準用ス

第三十四條 司令官ハ司令長官ノ命ヲ承ケ艦隊ノ一部又ハ戰隊若ハ其ノ一部ヲ指揮ス

第三十五條 司令長官ノ幕僚タル參謀長ハ司令長官ヲ佐ケ隊務ヲ整理シ幕僚其ノ他隊務ニ參與スル職員ノ職務ヲ監督ス

第三十六條 司令長官ノ幕僚タル參謀ハ參謀長ノ命ヲ承ケ艦隊ノ軍紀、風紀、教育、訓練、作戰等ニ關スルコトヲ掌ル
第三十七條 司令長官ノ幕僚タル副官ハ參謀長ノ命ヲ承ケ儀制人事及庶務ニ關スルコトヲ掌ル

第三十八條 司令官ノ幕僚タル參謀及副官ハ司令官ノ命ヲ受ケ前二條ノ規定ニ準シ服務ス但シ其ノ首席參謀ノ職務ハ參謀長

ニ關スル規定ニ準ス又副官ヲ置カサルトキハ其ノ職務ハ參謀ノ任トス

第三十九條 獨立艦隊司令官ノ幕僚ニ參謀長ヲ置クトキハ其ノ職務ハ第三十五條ノ規定ニ準ス

前項ノ場合ニ於テハ司令官ノ幕僚タル參謀及副官ハ參謀長ノ命ヲ承ケ服務ス

第四十條 機關長ハ司令長官又ハ司令官ノ命ヲ承ケ艦隊又ハ戰隊ノ機關ニ關スル事ヲ掌リ各艦船部隊機關長ノ職務及機關官以下機關部員ノ教育訓練ヲ監視ス

第四十一條 軍醫長ハ司令長官ノ命ヲ承ケ艦隊ノ醫務、衛生ニ關スル事ヲ掌リ各艦船部隊軍醫長ノ職務及軍醫官以下看護部員ノ教育訓練ヲ監視ス

第四十二條 主計長ハ司令長官ノ命ヲ承ケ各艦船部隊ノ會計事務ヲ監督シ之カ統一ヲ掌リ各艦船部隊主計長ノ職務及主計官以下主計部員ノ教育訓練ヲ監視ス

第四十三條 旗艦又ハ分遣隊首席將校乘艦ノ航海長ハ司令長官又ハ司令官若ハ分遣隊首席將校ノ命ヲ承ケ隊務ニ參與シ艦隊ノ航路及泊地ニ關スル事ヲ掌ル

第四十四條 司令官旗艦ノ軍醫長及主計長又ハ分遣隊首席將校乘艦ノ機關長、軍醫長及主計長ハ司令官又ハ分遣隊首席將校ノ命ヲ承ケ隊務ニ參與ス但シ其ノ職務ハ第四十條乃至第四十二條ノ規定ニ準ス

司令長官ノ幕僚ニ機關長、軍醫長、主計長又ハ司令官ノ幕僚ニ機關長ヲ置カサルトキ當該旗艦ノ機關長、軍醫長及主計長ノ職務ハ亦前項ニ準ス

第四十五條 司令長官、司令官又ハ分遣隊首席將校特ニ他ノ職員ヲシテ第四十三條及第四十四條ノ隊務ニ參與セシメタルト

キハ該二條ヲ適用セス
第四十六條 司令部附將校及同相當官ハ司令長官又ハ司令官ノ指定ニ依リ各幕僚ニ屬シ又ハ麾下ノ艦船ニ分乘シ隊務ニ參與ス

司令部附兵曹長、同相當官、准士官及下士卒ハ各上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第四十七條 主理ハ司令長官又ハ司令官ノ命ヲ受ケ艦隊ノ軍事司法及懲罰ニ關スル事ヲ掌ル

第四十八條 通譯官ハ參謀長參謀長ヲ置カサルトキハ首席參謀ノ命ヲ承ケ通譯ニ關スル事ヲ掌ル

第四十九條 幕僚其ノ他隊務ニ參與スル職員其ノ職務ニ關シ司令長官又ハ司令官ニ具申又ハ報告ヲ爲ストキハ總テ參謀長參謀長ヲ置カサルトキハ首席參謀ノ經由スヘシ

附則

本令ハ大正三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
艦隊條例ハ之ヲ廢止ス

大正五年三月十七日(軍令海五)

艦隊令中左ノ通改正ス

第一條中「防備隊、」ノ下ニ「航空隊、」ヲ加フ

第八條中「海軍將校、同相當官」ヲ「海軍將校、機關將校、將校相當官」ニ、「兵曹長同相當官、」ヲ「特務士官、」ニ改ム

第二十二條中「兵曹長、同相當官、」ヲ「特務士官、」ニ改ム

第二十三條中「將校同相當官」ヲ「將校、機關將校、將校相當官」ニ改ム

第四十條中「機關官」ヲ「機關將校」ニ改ム

第四十六條中「及同相當官」ヲ「機關將校及將校相當官」ニ、

「兵曹長、同相當官、」ヲ「特務士官、」ニ改ム

附則

本令ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正六年一月二十五日(海令)

艦隊令中左ノ通改正ス

第一條中「工作船、運送船、病院船」ヲ「特務船」ニ改メ同條

第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

艦隊ハ必要ニ應シ軍艦及驅逐隊、艇隊若ハ潜水艇隊ヲ以テ編成スルコトヲ得

大正八年三月二十四日(海令)

艦隊令中左ノ通改正ス

第一條 艦隊ハ軍艦二隻以上ヲ以テ編成シ必要ニ應シ之ニ驅逐

隊、潜水隊、艇隊又ハ驅逐艦、潜水艦、水雷艇ヲ編入シ港務部、防備隊、航空隊、特務船等ヲ附屬ス

艦隊ハ必要ニ應シ軍艦及驅逐隊、潜水隊、艇隊ヲ以テ編成ス艦隊ハ編制若ハ任務ニ因ル名稱又ハ差遣スル海洋若ハ地方ノ名ヲ冠稱ス

第二條 艦隊ハ必要ニ應シ之ヲ戰隊ニ區分ス

戰隊ハ軍艦二隻以上又ハ軍艦及驅逐隊、潜水隊、艇隊ヲ以テ編成ス但シ軍艦及驅逐隊、潜水隊、艇隊ヲ以テ編成スルトキ

ハ之ヲ水雷戰隊又ハ潜水戰隊ト稱スルヲ例トス
戰隊ハ編成ニ因リ第一戰隊、第二水雷戰隊又ハ第三潜水戰隊

等ト稱ス

第四條 聯合艦隊ニ司令長官ヲ置ク

艦隊ニ司令長官又ハ司令官ヲ置ク

戰隊ニ司令官ヲ置ク但シ第三十條ノ場合ニ於テハ之ヲ置カサルコトヲ得

聯合艦隊司令長官及艦隊司令長官ハ親補トス

第十七條第二項ヲ削ル

第十九條第一項中「艇隊、潜水艇隊」ヲ「潜水隊、艇隊」ニ改メ同條第二項ヲ削リ同條第三項中「前二項ノ場合ニ於テ」ヲ

「前項ノ場合ニ於テ」ニ改ム

第三十四條 戰隊司令官ハ艦隊司令長官ニ隸シ麾下戰隊又ハ其ノ一部ヲ指揮統率シ第十二條、第十六條乃至第十九條、第二

十六條及第二十七條ノ規定ニ準シ服務ス

聯合艦隊司令長官又ハ艦隊司令長官ノ直率スル戰隊ノ司令官ハ司令長官ノ命スル所ニ依リ服務ス

第三十四條ノ二 潜水戰隊司令官ハ必要ニ應シ麾下艦船ノ職員ヲ一時麾下ノ他艦船ニ配置スルコトヲ得

第三十四條ノ三 分遣隊首席將校ハ分遣隊ヲ指揮シ戰隊司令官ニ關スル規定ニ準シ服務ス

附則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十二年八月二十二日(海令)

艦隊令中左ノ通改正ス

第一條中「艇隊」ヲ「掃海隊」ニ、「水雷艇」ヲ「掃海艇」ニ、「特務船」ヲ「特務艦」ニ改ム

第二條中「艇隊」ヲ削リ同條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

戰隊ニハ必要ニ應シ掃海隊ヲ編入ス

第三條中「編成ス」ヲ「編成シ必要ニ應シ之ニ艦船部隊ヲ編入

シ又ハ附屬ス」ニ改ム

第八條中「海軍將校、機關將校、將校相當官、主理」ヲ「士官、
「司法事務官」ニ、「下士卒」ヲ「下士官及兵」ニ改ム

第十六條中「將校」ヲ「指揮官」ニ改ム

第十九條中「將校」ヲ「指揮官」ニ、「艦隊、驅逐隊、潜水隊、
艇隊及艦船」及「諸隊及艦船」ヲ「艦船部隊」ニ改ム

第二十一條中「乘員」ヲ「人員」ニ改ム

第二十二條 艦隊司令長官ハ必要ニ應シ麾下ノ人員ヲ麾下艦船
部隊ノ間ニ一時轉勤セシムルコトヲ得

但シ士官ニ付テハ緊急已ムヲ得サル場合ヲ除クノ外豫メ海軍
大臣ノ承認ヲ經ルヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ士官及候補生ニ付テハ之ヲ海軍大臣ニ報
告シ其ノ他ノ者ニ付テハ之ヲ本人在籍ノ鎮守府司令長官ニ通
報スヘシ

第二十三條中「將校、機關將校、將校相當官」ヲ「士官」ニ改
ム

第二十九條中「席次ノ」ヲ「軍令承行」ニ改ム

第三十四條ノ二中「職員」ヲ「人員」ニ、「配置ス」ヲ「轉勤セ
シム」ニ改ム

第三十四條ノ三中「將校」ヲ「指揮官」ニ改ム

第三十六條ニ左ノ一項ヲ加フ

機關將校タル參謀ハ前項ノ規定ニ依ルノ外機關長ノ命ヲ承
ケ服務ス

第四十條中「機關將校以下機關部員」ヲ「機關科員」ニ改ム

第四十一條中「軍醫官以下看護部員」ヲ「醫務科員」ニ改ム

第四十二條中「主計官以下主計部員」ヲ「主計科員」ニ改ム

第四十三條乃至第四十五條中「將校」ヲ「指揮官」ニ改ム

第四十六條中「將校、機關將校及將校相當官」ヲ「士官」ニ、
「麾下ノ艦船ニ分乘シ」ヲ「所屬艦船部隊ニ在リテ」ニ、「及下
士卒」ヲ「下士官及兵」ニ改ム

第四十七條中「主理」ヲ「司法事務官」ニ改ム

昭和三年三月二十九日(軍令
海一)

艦隊令中左ノ通改正ス

第二條 艦隊ハ必要ニ應シ之ヲ戰隊ニ區分ス
戰隊ハ軍艦二隻以上又ハ軍艦及驅逐隊若ハ潜水隊ヲ以テ之ヲ
編成ス但シ主トシテ航空母艦、驅逐隊、潜水隊等ヲ以テ編成
スルトキハ之ヲ航空戰隊、水雷戰隊、潜水戰隊等ト稱スルヲ
例トス

戰隊ニハ必要ニ應シ掃海隊ヲ編入ス
戰隊ハ編成ニ因リ之ヲ第一戰隊、第二航空戰隊、第三水雷戰
隊、第四潜水戰隊等ト稱ス

第三條 聯合艦隊ハ艦隊二箇以上ヲ以テ編成シ必要ニ應シ之ニ
艦船部隊ヲ編入シ又ハ附屬ス
前項ノ規定ニ依リ編入又ハ附屬セラレタル艦船ハ必要ニ應シ
前條ノ規定ニ準シ其ノ一部又ハ全部ヲ戰隊ニ區分ス

昭和三年十二月三日(軍令
海五)

艦隊令中左ノ通改正ス

第四十條 機關長ハ司令長官又ハ司令官ノ命ヲ承ケ艦隊又ハ戰
隊ノ機關、艦内工作及航空機ノ整備竝船體ノ現狀調査ニ關ス
ルコトヲ掌リ各艦船部隊ノ機關長、工作長及整備長ノ職務竝
機關科員、工作科員及整備科員ノ教育訓練ヲ監視ス

附則

本令ハ昭和三年十二月十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年十月二十三日(軍令海二)

艦隊令中左ノ通改正ス

第一條中「潜水隊、」ノ下ニ「水雷隊、」ヲ、「潜水艦、」ノ下ニ「水雷艇、」ヲ加フ
第二條第三項中「掃海隊」ヲ「水雷隊又ハ掃海隊」ニ改ム

昭和八年四月十九日(軍令海三)

艦隊令中左ノ通改正ス

第十九條中「要港司令官ヲ置カサル要港ヲ除ク」ヲ「要港若ハ旅順港」ニ改ム

昭和八年九月二十六日(軍令海六)

艦隊令中左ノ通改正ス

「海軍軍令部長」ヲ「軍令部總長」ニ改ム
第六條中「參謀長」ノ下ニ「軍醫長及主計長」ヲ加フ
第十條 聯合艦隊司令長官ハ

天皇ニ直隸シ聯合艦隊ヲ統率シ之ニ關スル隊務ヲ統督ス

聯合艦隊司令長官ハ軍政ニ關シテハ海軍大臣ノ指揮ヲ承ケ又作戰計畫ニ關シテハ軍令部總長ノ指示ヲ承ク

第十一條 艦隊司令長官ハ

天皇ニ直隸シ麾下ノ艦隊ヲ統率シ隊務ヲ總理ス

艦隊司令長官ハ軍政ニ關シテハ海軍大臣ノ指揮ヲ承ケ又作戰計畫ニ關シテハ軍令部總長ノ指示ヲ承ク

第十五條 艦隊司令長官ハ必要ニ應シ麾下ノ艦隊又ハ其ノ一部

ヲ艦隊行動區域外ニ派遣スルトキハ豫メ海軍大臣ニ上申スヘシ但シ緊急ノ場合ニ當リテハ直ニ之ヲ艦隊行動區域外ニ派遣スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ事後之ヲ海軍大臣及軍令部總長ニ報告スヘシ

艦隊行動區域ハ別ニ之ヲ定ム

第四十一條及第四十二條中「司令長官」ノ下ニ「又ハ獨立艦隊司令官」ヲ加フ

第四十四條第一項中「司令官旗艦」ヲ「司令官旗艦(獨立艦隊司令官旗艦ヲ除ク)」ニ改メ同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

司令長官又ハ獨立艦隊司令官ノ幕僚ニ機關長、軍醫長、主計長又司令官ノ幕僚ニ機關長ヲ置カサルトキハ當該旗艦ノ機關長、軍醫長及主計長ノ職務ハ亦前項ノ規定ニ準ス

附則

本令ハ昭和八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和九年五月三十一日(軍令海五)

艦隊令中左ノ通改正ス

第二條中「航空母艦、」ノ下ニ「水上機母艦、」ヲ加フ

昭和十二年八月九日(軍令海五)

艦隊令中左ノ通改正ス

第八條中「准士官、」ノ下ニ「判任文官、」ヲ加フ

第四十九條ヲ第五十條トス

第四十九條 判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

昭和十三年一月二十四日(軍令海一)

艦隊令中左ノ通改正ス

第八條中「及兵」ヲ「兵其ノ他特種ノ人員」ニ改ム

第五十條ヲ第五十一條トス

第五十條 前四條ニ規定スル者ヲ除クノ外附ハ上官ノ命ヲ承ケ
服務ス

昭和十三年十一月十四日(軍令
海八)

艦隊令中左ノ通改正ス

第四條第四項ヲ左ノ如ク改ム

聯合艦隊司令長官、艦隊司令長官及獨立艦隊司令官ハ親補ト
ス